

## 令和4年度 学カスタンダード指導計画・報告書

教科:( 数学 )科目:( 数学 I ) 対象:(第2学年1組～5組)

科目担当者:1～5組 青柳・武居・荻野・村岡

教科・科目の 指導目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生で学んだことを土台にし、高校で学習する基本的な計算ができるようになる。</li> <li>・文章題をよく読み、必要な情報を読み取れるようになる。</li> </ul>
----------------	--

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	<p>小数、分数の四則計算ができない生徒も多く小学校、中学校時代の基本の理解が全体として不十分である。また多くの生徒に苦手意識が根付いている。</p> <p>高校1年において中学の復習を含みながら数と式、2次関数まで学習が終わっているが、内容を十分に理解している生徒は少ない。</p>	<p>1 高校2年の1年間を通して高校数学 I の内容の三角比、集合と論証、データ分析の3つの分野を学習する。その際分数の計算や方程式について、何度も復習し、時間をかけて1問1問解いていく。</p> <p>2 分野によってはオリジナルプリントを利用して、生徒に学習してほしい最低限の計算や知識を習得してもらう。また、習熟度別授業によって手厚く指導し、質問時間や演習時間を確保する。</p>	<p>1 1つ1つの問題に時間をかけながら、基本的な考え方や計算ができるよう指導していく。その際、図や表などを多く活用し視覚的に生徒にわかやすい授業を展開していく。</p> <p>2 習熟度別授業の強みを活かし、個々の疑問に丁寧に対応できる体制を構築する。</p>

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			